平成25年3月期
決算説明会

平成25年5月8日

CUBE SYSTEM



TOKYO
STOCK EXCHANGE

（証券コード：2335）

CUBE SYSTEM

Ⅰ　平成２５年３月期　決算概況

Ⅱ　中期経営ビジョンの進捗状況

Ⅲ　今後の重点施策

巻末資料

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

Ⅰ　平成２５年３月期　決算概況

CUBE SYSTEM

１．　連結損益計算書概要

２．　品目別売上高・売上総利益推移

３．　業種別売上高・売上総利益推移

４．　顧客グループ会社に対する売上高推移

５．　一人当たり指標

６．　ＲＯＥの推移

７．　配当金の推移

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1．連結損益計算書概要

連結業績　売上高過去最高

- ◆ 金融業向けシステムインテグレーション・サービスの売上増
- ◆ 流通業向けシステムインテグレーション・サービスの売上増

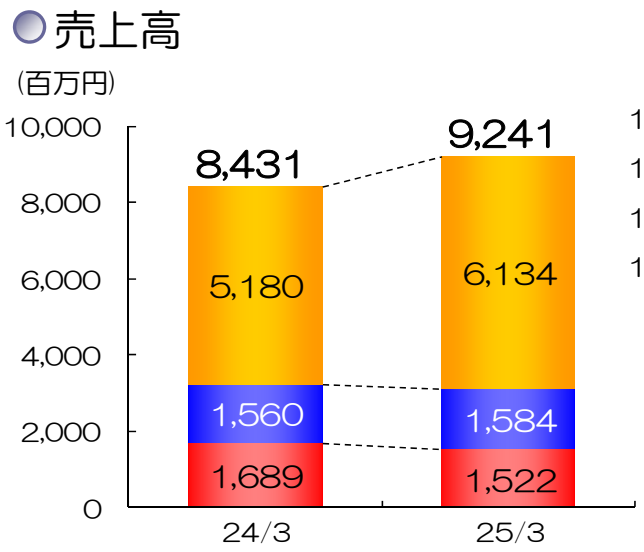
（単位：百万円）

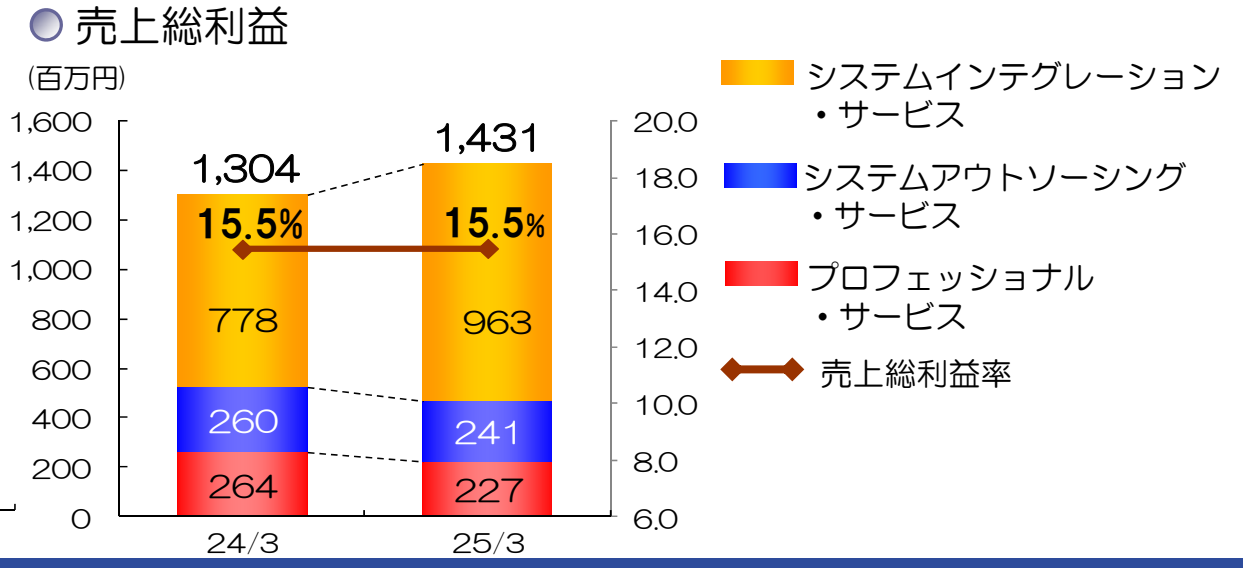
	24/3 実績	25/3 実績	前期比	25/3 計画	計画比
売上高	8,431	9,241	109.6%	9,000	102.7%
営業利益（営業利益率）	523（6.2%）	601（6.5%）	114.8%	620（6.9%）	97.0%
経常利益（経常利益率）	533（6.3%）	606（6.6%）	113.6%	630（7.0%）	96.2%
当期純利益（当期純利益率）	117（1.4%）	337（3.7%）	286.7%	350（3.9%）	96.5%

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2．品目別売上高・売上総利益推移

	売上高 前期比	売上総利益 前期比	増 減 要 因
システムインテグレーション・サービス	118.4%	123.7%	・金融業及び流通業向け案件の拡大
システムアウトソーシング・サービス	101.6%	92.6%	・教育事業向け案件の拡大により、売上高は増加 ・各プロジェクトの採算が悪化したため、売上総利益は減少
プロフェッショナル・サービス	90.1%	85.8%	・通信業及び金融業向け案件の縮小
合計	109.6%	109.8%	



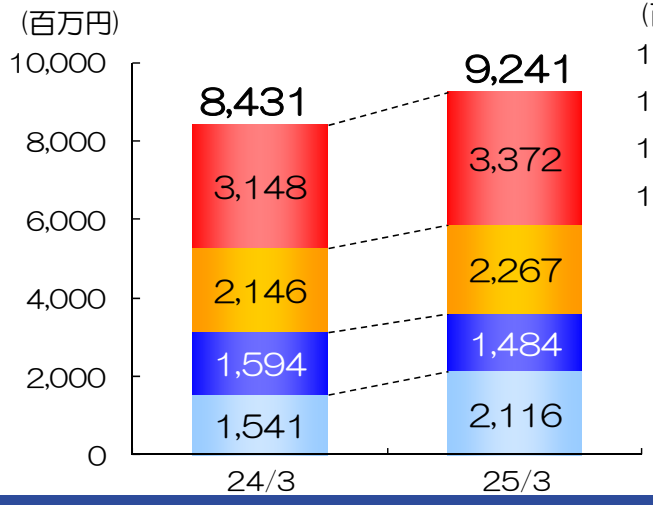


Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

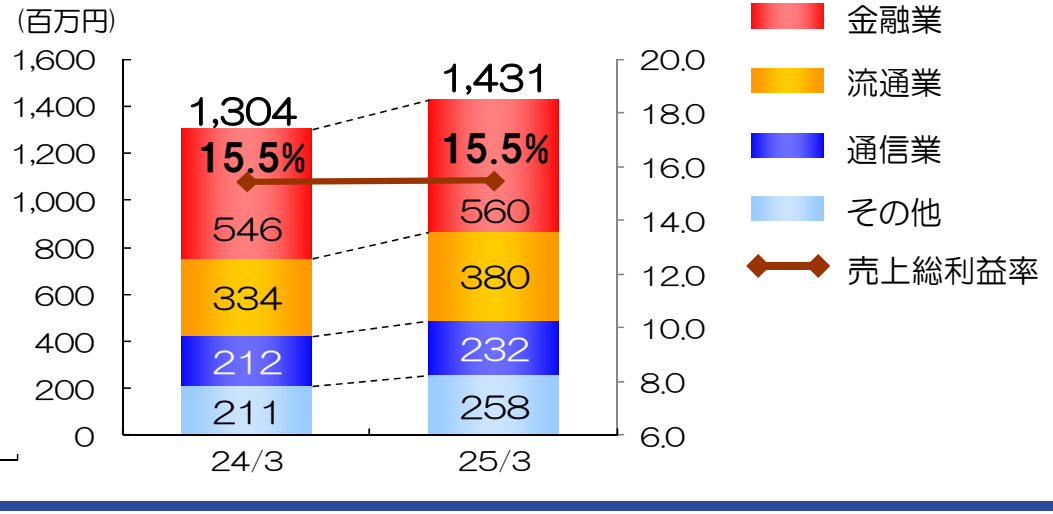
3．業種別売上高・売上総利益推移

	売上高 前期比	売上総利益 前期比	増 減 要 因
金融業	107.1%	102.6%	・損害保険会社向け及び生命保険会社向け開発案件が拡大
流通業	105.6%	113.8%	・総合スーパー向け新規開発案件の受注拡大及び利益率の改善 ・アパレル会社向け開発案件の拡大
通信業	93.1%	109.3%	・通信キャリア向け基盤構築案件の縮小により、売上高は減少 ・電気通信事業向け開発案件の拡大及び各プロジェクトの採算が改善したことにより、売上総利益は増加
その他	137.3%	122.3%	・教育事業向け開発・維持保守案件の拡大 ・紙加工品メーカー向け開発案件の拡大

売上高



売上総利益

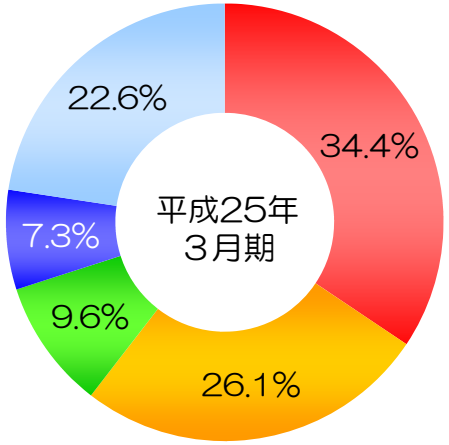


Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

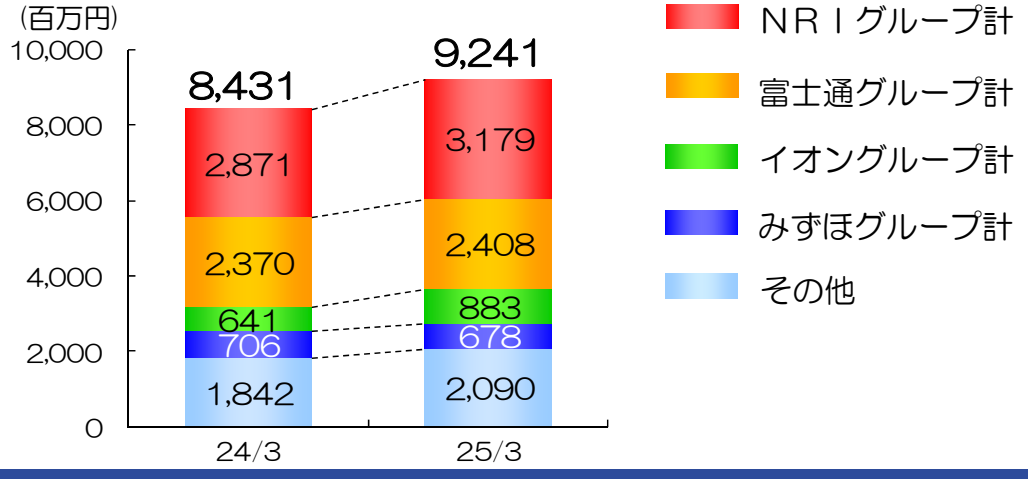
4．顧客グループ会社に対する売上高推移

	構成比	前期比	増 減 要 因
NRIグループ	34.4%	110.7%	・紙加工品メーカー向け開発案件の拡大 ・教育事業向け維持保守案件の拡大
富士通グループ	26.1%	101.6%	・通信キャリア向け基盤構築案件が大幅に縮小 ・電気通信事業向け開発案件の拡大
イオングループ	9.6%	137.8%	・新規開発案件の拡大
みずほグループ	7.3%	96.1%	・開発案件の拡大 ・基盤構築案件の縮小
グループ4社合計	77.4%	108.5%	

売上高構成比



売上高

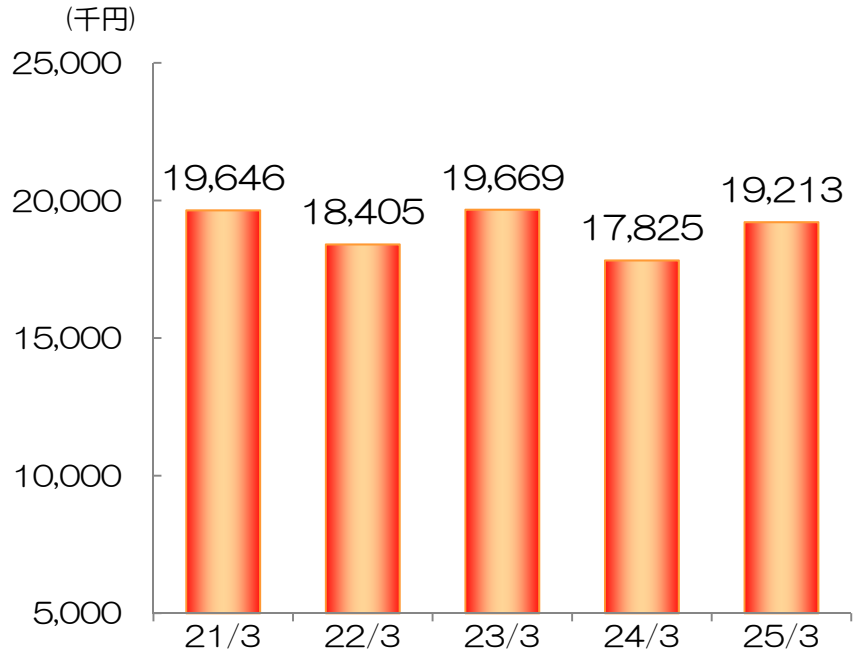


Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

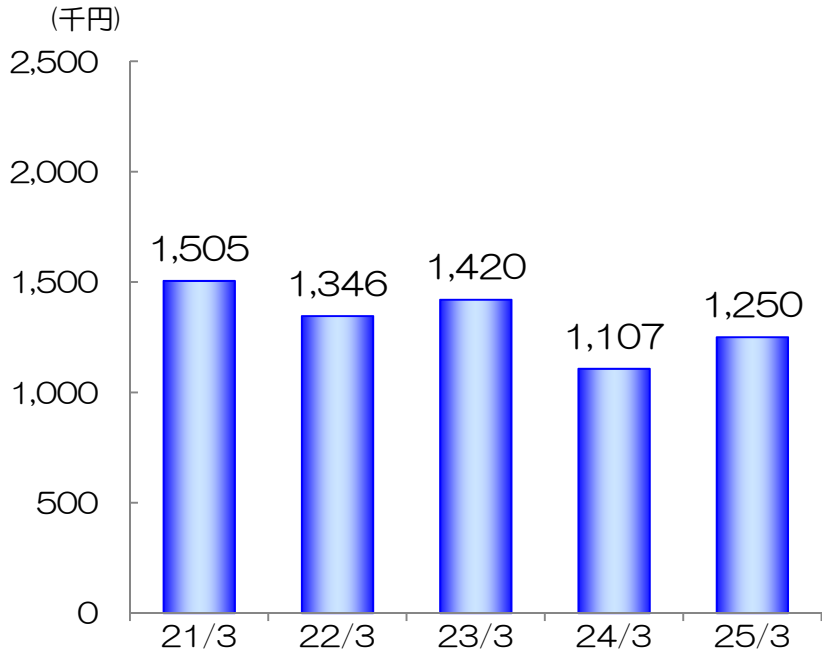
5．一人当たり指標

※海外子会社の従業員数を含んでおりません。

●一人当たり売上高



●一人当たり営業利益

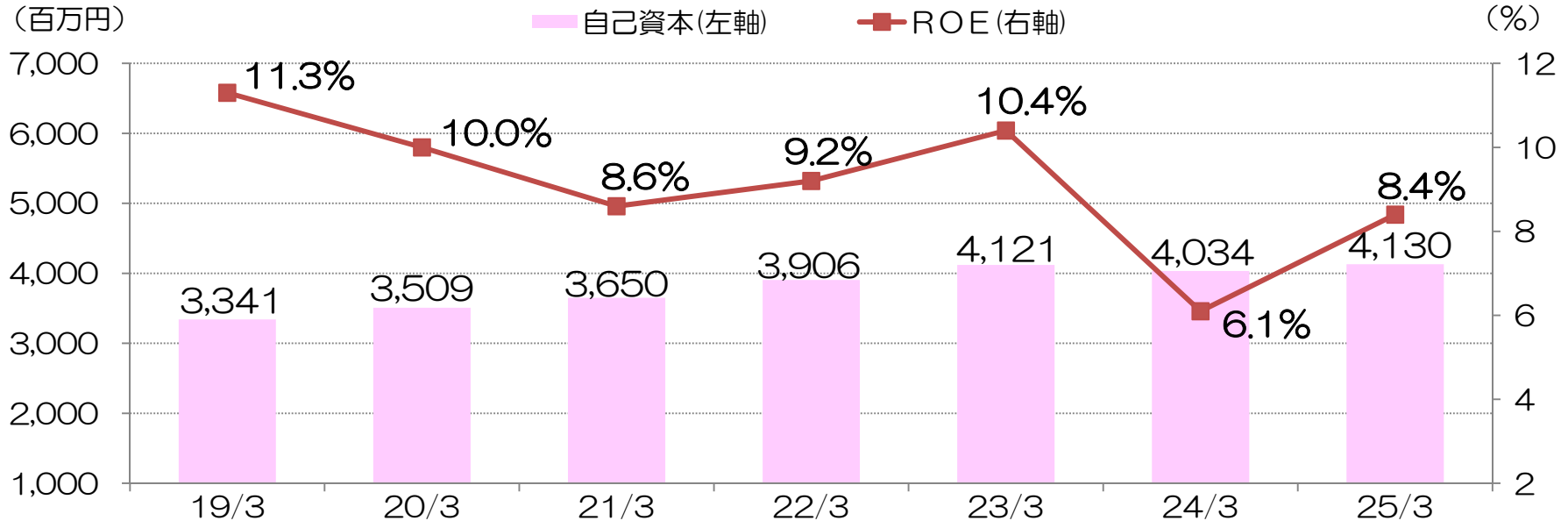


(千円)

	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	前期増減額
一人当り売上高	19,646	18,405	19,669	17,825	19,213	+1,387
一人当り営業利益	1,505	1,346	1,420	1,107	1,250	+143

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

６．ＲＯＥの推移

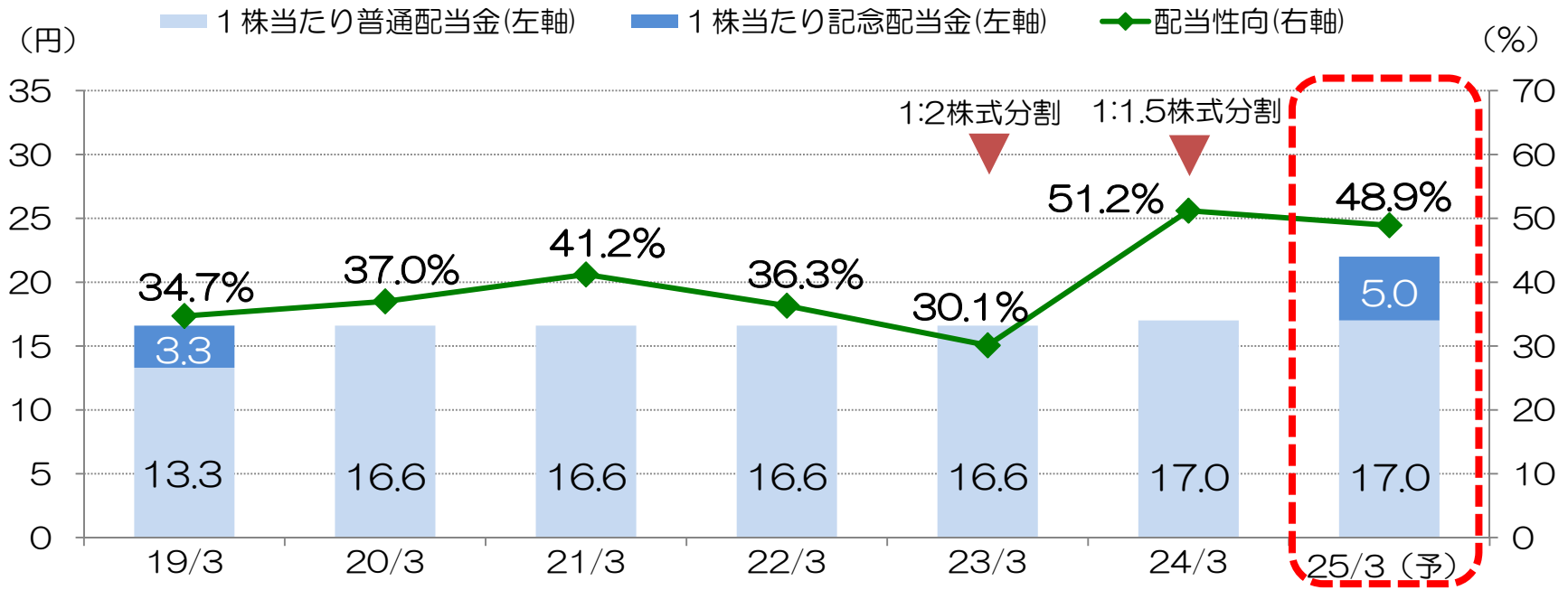


※１ 平成23年3月期は、年金制度移行に伴い発生した過去勤務債務を除いて利益額を調整し算出しております。
※２ 平成24年3月期は、税率変更並びに繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の増加分を除いて利益額を調整し算出しております。

今後も資本効率を高め利益率の向上を図り、
ＲＯＥ１０%以上を目指してまいります。

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

7．配当金の推移



※1 平成22年3月期以前の配当金は、平成22年4月1日の1：2の株式分割及び平成23年4月1日の1：1.5の株式分割の影響を遡及して調整しております。
※2 平成23年3月期は、年金制度移行に伴い発生した過去勤務債務を除いて利益額を調整し配当性向を算出しております。
※3 平成24年3月期は、税率変更並びに繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の増加分を除いて利益額を調整し配当性向を算出しております。

今後も収益性の向上に努め、
安定的な配当を継続してまいります

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

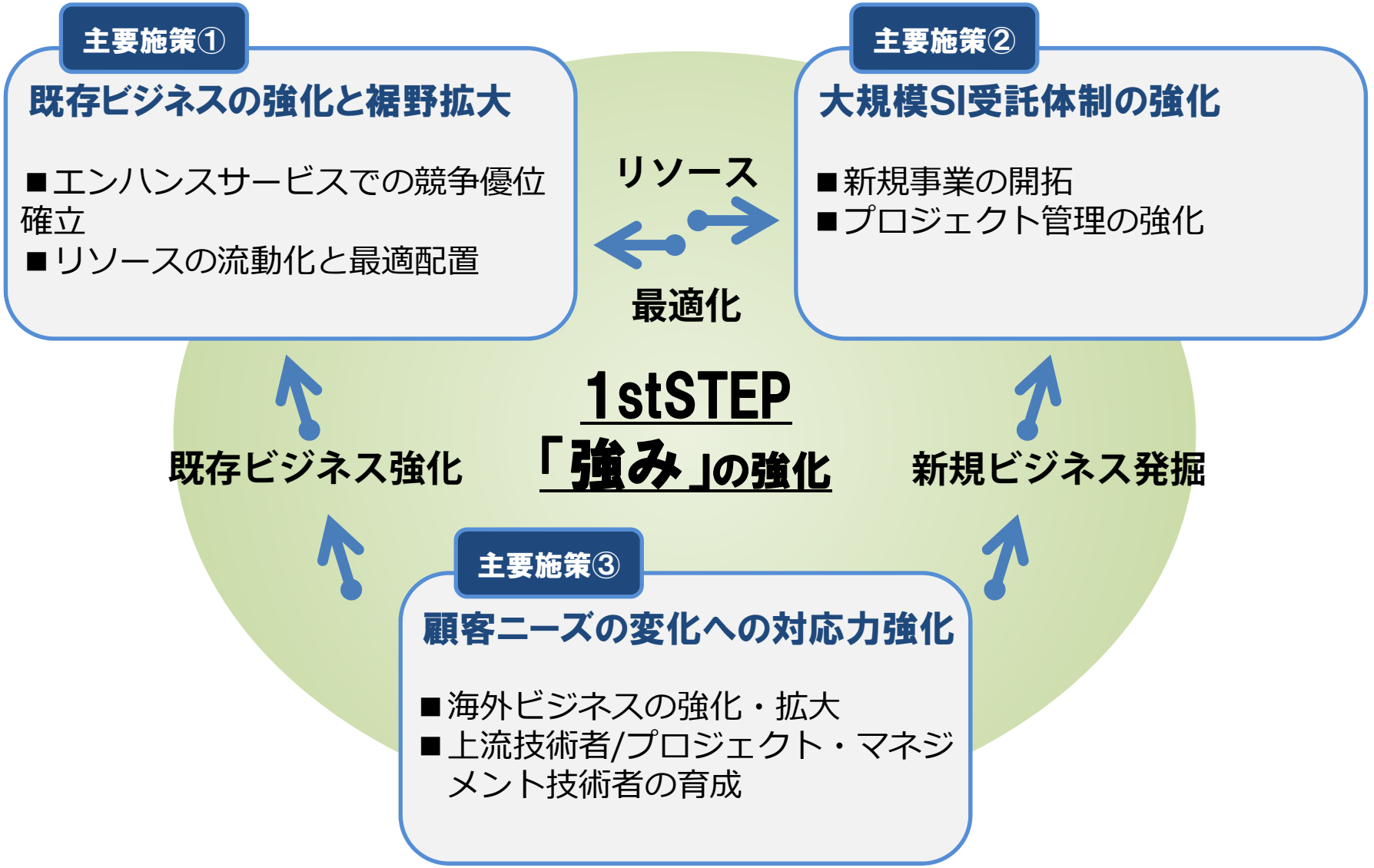
CUBE SYSTEM

I can do "IT" right

１．　中期経営ビジョンの重点施策と状況
２．　２０１３年度重点施策
３．　当社を取巻く環境と今後の展望
４．　さいごに

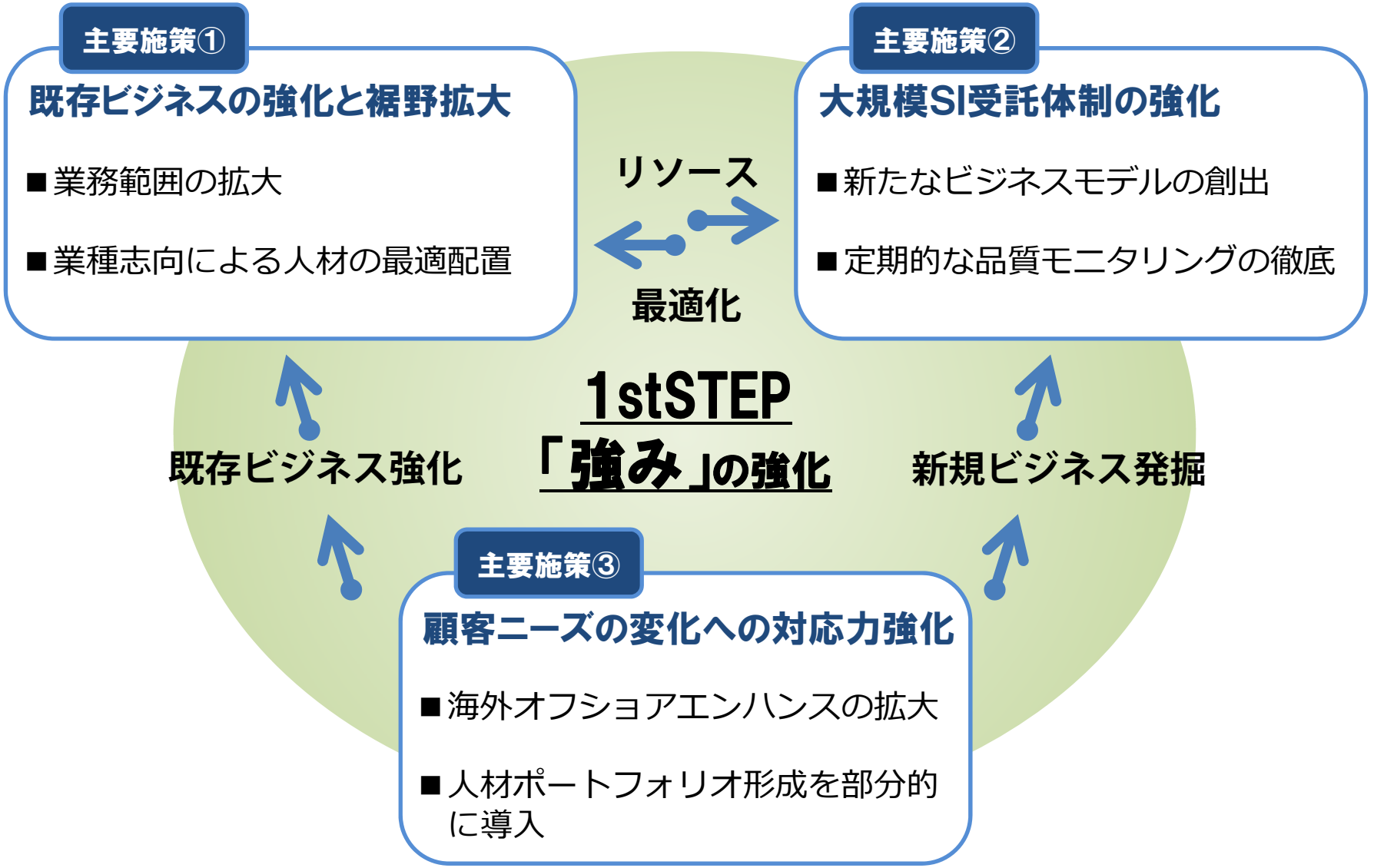
Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1．中期経営ビジョン（1stSTEP）の重点施策



Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1．中期経営ビジョン（1stSTEP）の重点施策の状況

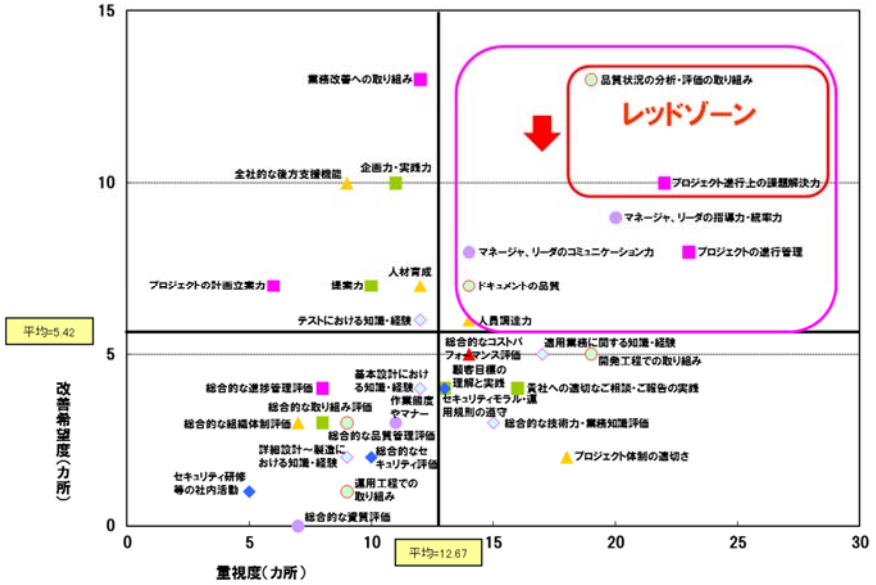


Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

中期経営ビジョンの進捗状況

1．中期経営ビジョン（1stSTEP）の重点施策の状況

業績は回復したものの
今期以降に向けた課題は残る



高まる期待

プロジェクトの他社からの巻き取り、
上流工程へのシフト

総合的な**進捗管理**と**品質管理**等に関する
更なる改善要望

強化点の明確化

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

２．２０１３年度重点施策

品質

品質・生産性の向上施策／利益率改善施策

使命（知的ビジネス）・目標（ベストパートナー）・底力（若さ/情熱）

人材育成/人材確保/BP連携/オフショア拡大施策

体制

収益力の改善（率と額）　**成長力/安定力の改善**　**SI遂行力の強化**

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

２．２０１３年度重点施策

顧客へ提供するサービスの品質向上を行い、
信頼確保と顧客満足向上によるベストパートナーを目指す



Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3．当社を取巻く環境と今後の展望

CUBE SYSTEM Group Vision

「顧客からベストパートナーと評価される企業」
「社員と会社（個と組織）が共に成長し、
喜び・豊かさを分かち合える企業風土の醸成」

3rd STEP サービスメニューの創出

2nd STEP SIビジネスの立ち上げ

1st STEP 「強み」の強化



Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3．当社を取巻く環境と今後の展望　～これからの５年～

M2Mプラットフォーム





デバイス

データ提供

xDSL,FTTH　LTE　3G　WiMAX

ビッグデータ

ノウハウ

Wi-Fi　Ethernet

情報提供



農業



資源

付加価値



物流



流通




デバイス管理




あらゆるものが繋がる
可能性のビッグチャンス



ウェルネス

ベストソリューション

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3．当社を取巻く環境と今後の展望

全ての業種・業態が「クラウド」化

経営とＩＴが更に密接な関係へ

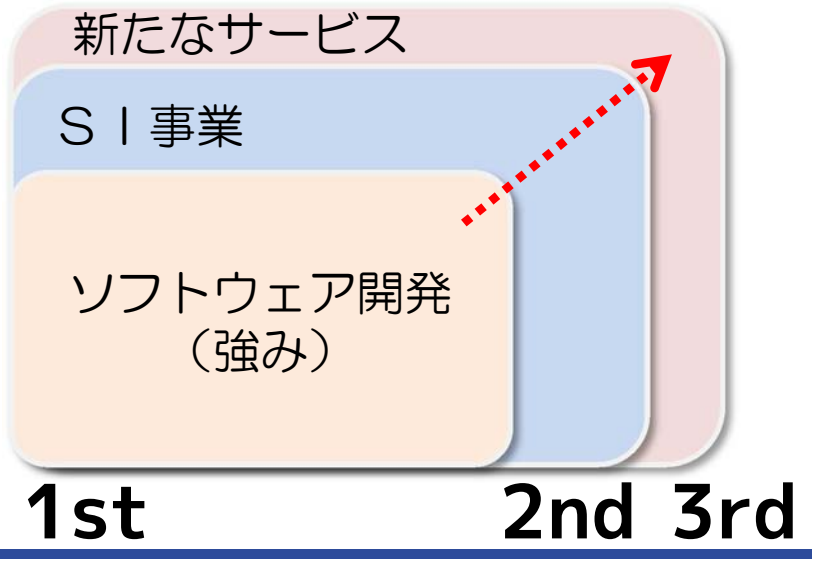
エンドユーザとのＩＴパートナー連携

1st STEPの実現 ⇒ 「強み」の強化

- 既存ビジネスの「強み」（システム基盤＋業種別サービス）の強化
- 大規模案件を受託できる体制の確立
- 中国/ベトナムを活用した顧客の海外ビジネスITサポート

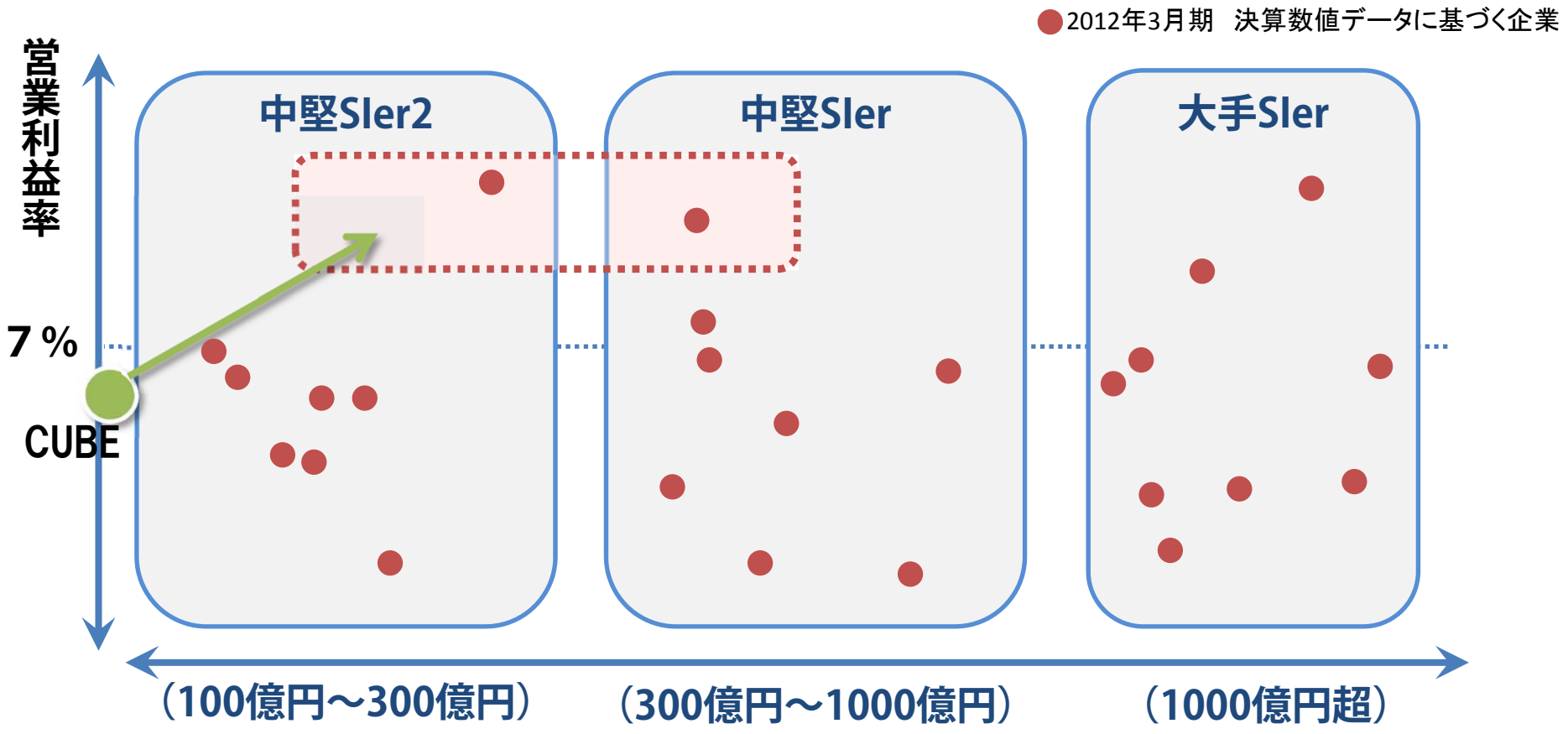
2nd STEPの準備完了

⇒ **SIビジネスの立ち上げ**



Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3．当社を取巻く環境と今後の展望



- 規模の拡大（新規顧客の拡大/受託開発→サービス提供）
- 上流工程（コンサル）からの受注拡大
- エンハンスサービス（下流工程）の効率化による継続ビジネスの拡大
- マーケティング機能の整備と強化

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

４．さいごに

これからも信頼される「CUBE　SYSTEM」へ

顧客から“ベストパートナー”と評価される企業

社員と会社（個と組織）が共に成長し、喜び・豊かさを分かち合える企業風土の醸成



- ソリューション・ＳＩビジネス
- サービス提供型ビジネス
- グローバル・ビジネス
- 積極的な開発投資

- チャレンジ
- 人材育成プログラム
- 多種多様なプロフェッショナル
- 評価・処遇体系

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

Ⅲ　今後の重点施策

CUBE SYSTEM



1．　業績見通しの概要
2．　マーケット別売上高見通し
3．　ビジネス基盤と重点施策
4．　業種別受注見通し

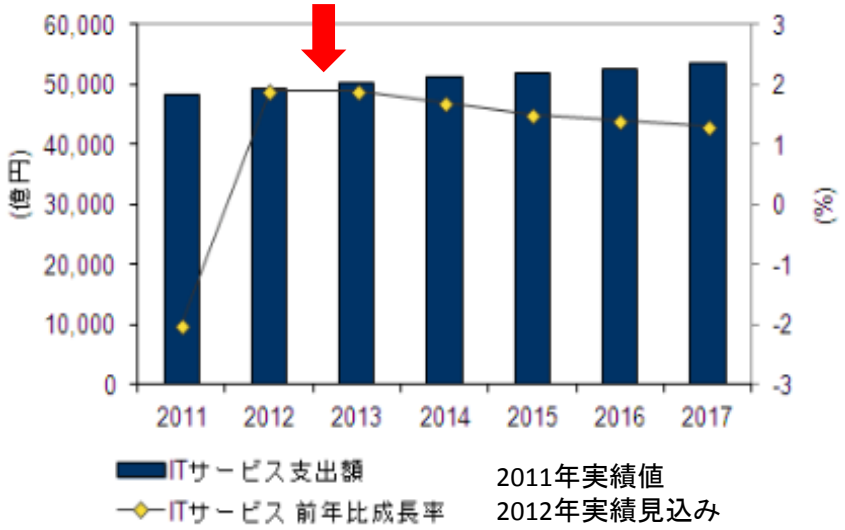
Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

平成26年3月期　見通し

1）業績見通しの概要

■国内IT市場動向　※参考：IDC Japan㈱2013年3月発表

●国内ITサービス市場　支出額予測



2012年国内ＩＴサービス市場は、2008年以来4年ぶりのプラス成長となり、前年比1.9%増の４兆9,369億円見込み

2013年も経済の緩やかな回復を背景にプラス成長を継続。2012年～2017年の年間平均成長率は1.6%と予測

■品目別受注状況

（単位：百万円）

	24/3		25/3			
	受注高	期末受注残高	受注高	前期比	期末受注残高	前期比
システムインテグレーション・サービス	5,304	1,361	6,319	119.1%	1,546	113.6%
システムアウトソーシング・サービス	1,542	360	1,693	109.8%	469	130.3%
プロフェッショナル・サービス	1,722	421	1,468	85.2%	368	87.3%
合計	8,570	2,143	9,481	110.6%	2,383	111.2%

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

平成26年3月期　見通し

CUBE SYSTEM

1）業績見通しの概要

- 売上高　：金融業、流通業における新規受注/既存ビジネスの業務範囲拡大により増収
- 営業利益　：品質管理体制の強化
  人材採用・育成
  先進技術投資

品質・生産性 ↗ 利益率 ↗

（単位：百万円）

	25/3（実績）	26/3（見通し）	増減	前期比
売上高	9,241	10,000	+758	108.2%
営業利益	601	700	+98	116.4%
経常利益	606	700	+93	115.5%
当期純利益	337	380	+42	112.5%

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

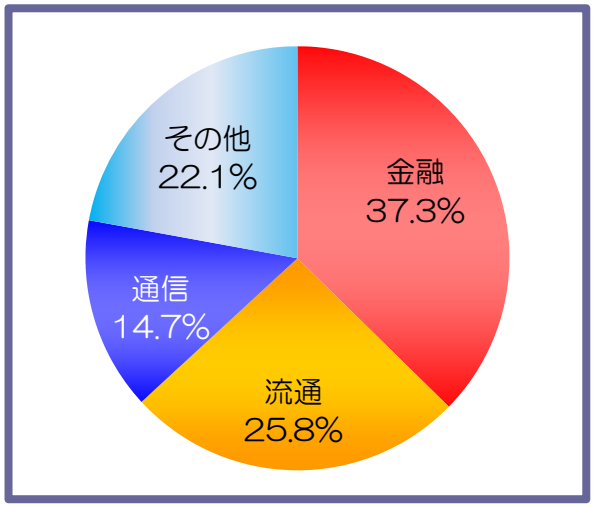
平成26年3月期　見通し

2）マーケット別売上高見通し

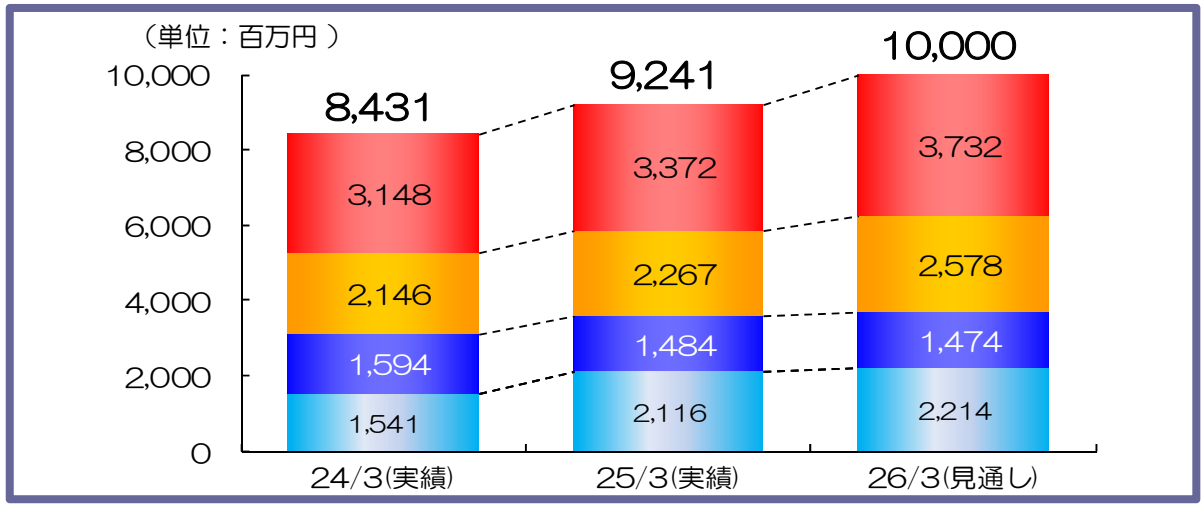
（単位：百万円）

業種	25/3		26/3		前期比
	実績	構成比	見通し	構成比	
金融	3,372	36.5%	3,732	37.3%	110.7%
流通	2,267	24.5%	2,578	25.8%	113.7%
通信	1,484	16.1%	1,474	14.7%	99.3%
その他	2,116	22.9%	2,214	22.1%	104.6%
合計	9,241	100.0%	10,000	100.0%	108.2%

■ 業種別売上高構成比（26/3計画）



■ 業種別売上高推移

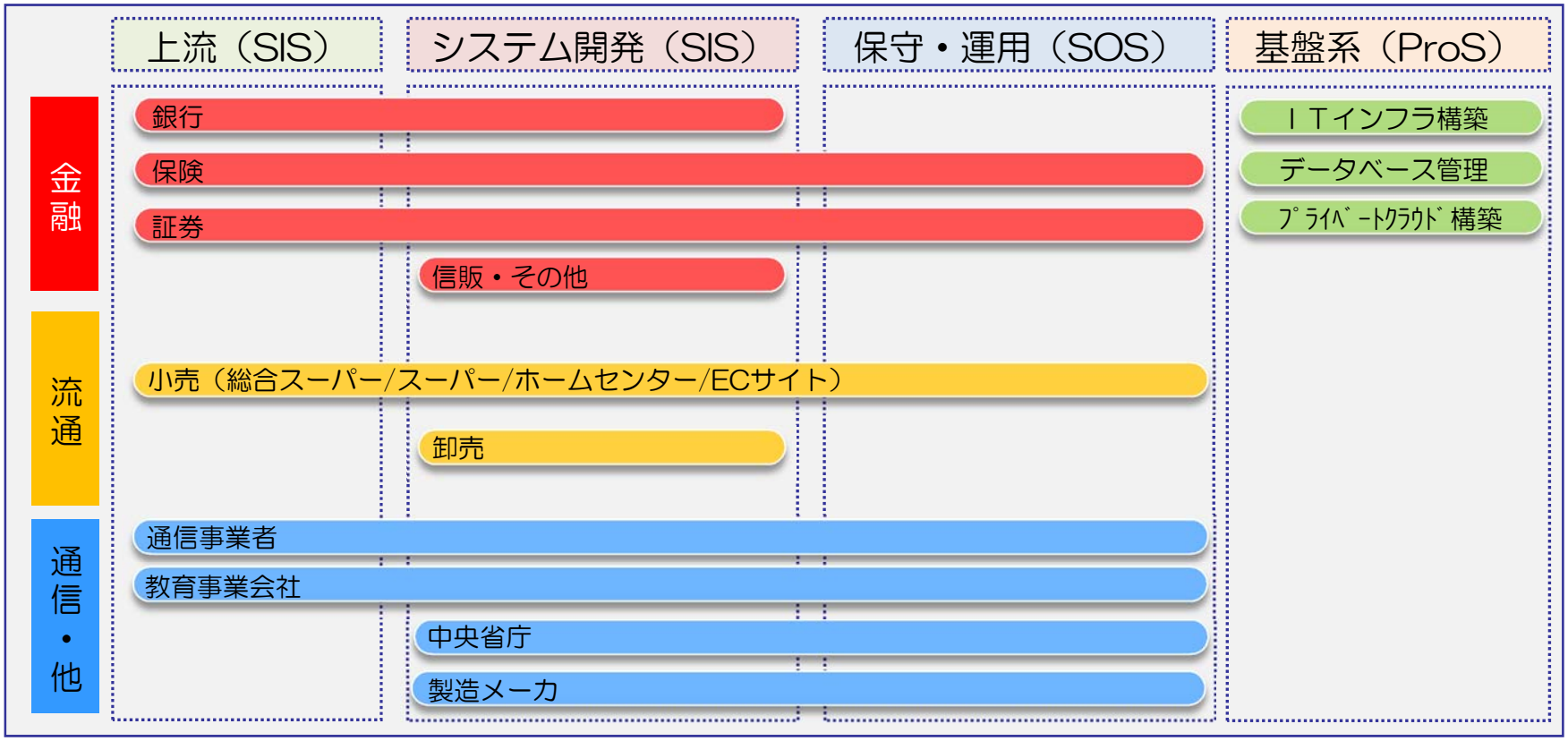


Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

平成26年3月期　見通し

3）ビジネス基盤と重点施策

重点施策	◆ 上流工程への参画による開発案件の拡大 ◆ 中大規模案件の受注拡大 ◆ 基盤系SI案件の拡大 ◆ 営業力強化 ◆ ニアショア・オフショア活用による営業優位性強化



Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

平成26年3月期　見通し

CUBE SYSTEM

4）業種別受注見通し

（単位：百万円 ）

	25/3（実績）	26/3（見通し）	増減	前期比
金融	3,372	3,732	+359	110.7%

銀行	グループ企業再編に伴い、今後も需要が見込まれる →情報系、勘定周辺系システム、基盤システムにて新規受注を見込む
ネット バンク	決済取引のサービス提供のチャネルの多様化により、システム化ニーズは今後も高まっていく見込み →共同利用型システム開発案件拡大と新規開発案件獲得を見込む
生命保険	グループ企業の各基幹系システムは堅調に推移することを見込む →業務処理系システム構築案件とコールセンターシステム開発案件の新規獲得、現行システムの業務範囲拡大を見込む
損害保険	業務プロセスの見直し、新事業展開によるシステム化投資は今後も継続する見込み →既存プロジェクトの追加対応ならびに新規個別案件、エンハンス業務の受注拡大を見込む
証券	情報系システム再構築案件の新規獲得ならびに、システム基盤案件の受注拡大を見込む
その他	消費者金融向けの製造工程の移行による開発案件拡大を見込む プライベートクラウド案件の次期フェーズを継続し受注していく見込み

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

平成26年3月期　見通し

4）業種別受注見通し

（単位：百万円 ）

	25/3（実績）	26/3（見通し）	増減	前期比
流通	2,267	2,578	+311	113.7%

総合スーパー	システム統合ならびにシステムの全体最適化は今後も続く見込み →上流工程へ参画し、新規案件の獲得を見込む
アパレル	エンハンス業務をオフショアへ展開していき、培ってきたノウハウをもって 基幹系システム再構築案件の新規受注を見込む

（単位：百万円 ）

	25/3（実績）	26/3（見通し）	増減	前期比
通信	1,484	1,474	▲9	99.3%
その他	2,116	2,214	+97	104.6%

通信	顧客料金システムの次期システム構築後、システムエンハンスを継続、さらに エンハンスから派生する個別案件の受注拡大を見込む
教育事業	既存ビジネスでの強みを活かし、顧客のグローバル展開に合わせた次期システム構築 案件の受注拡大を見込む
サービス・産業	他事業部へ展開し、基幹システムのオープン化に伴う次期システム構築の新規受注を 見込む

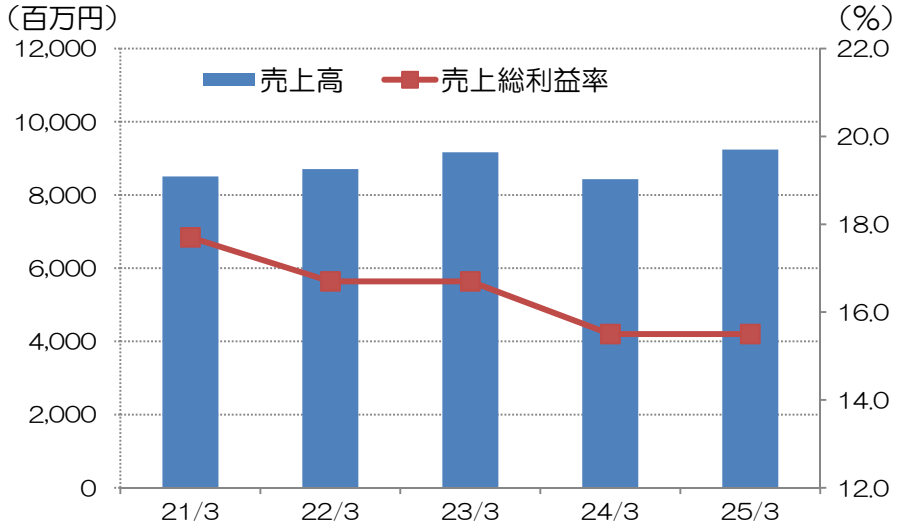
Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

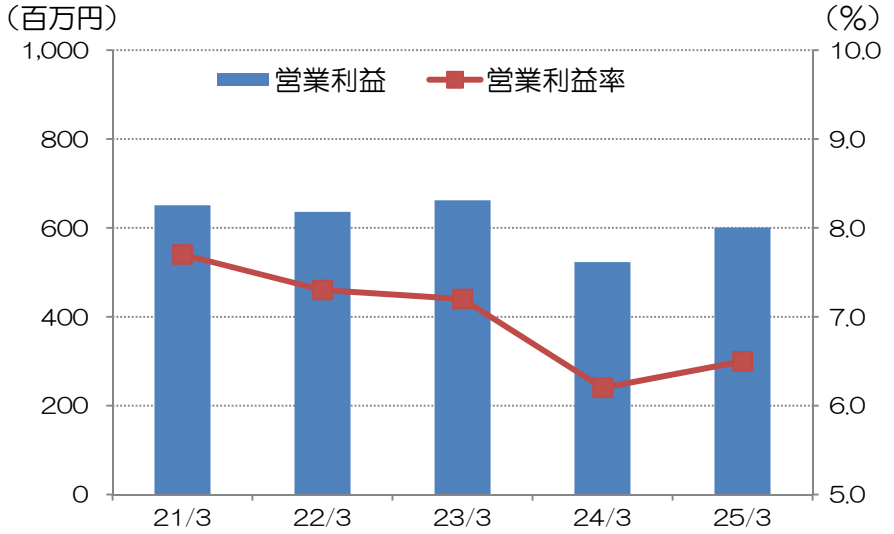
巻末資料

1）　５カ年推移
2）　会計期間推移
3）　連結貸借対照表　主要項目抜粋
4）　連結キャッシュ・フロー計算書
5）　品目別売上高・売上総利益推移
6）　業種別売上高・売上総利益推移
7）　主要顧客別売上高推移
8）　株価・株式関連
9）　資産・資本関連
10）　従業員情報

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1）5ヵ年推移





（百万円）

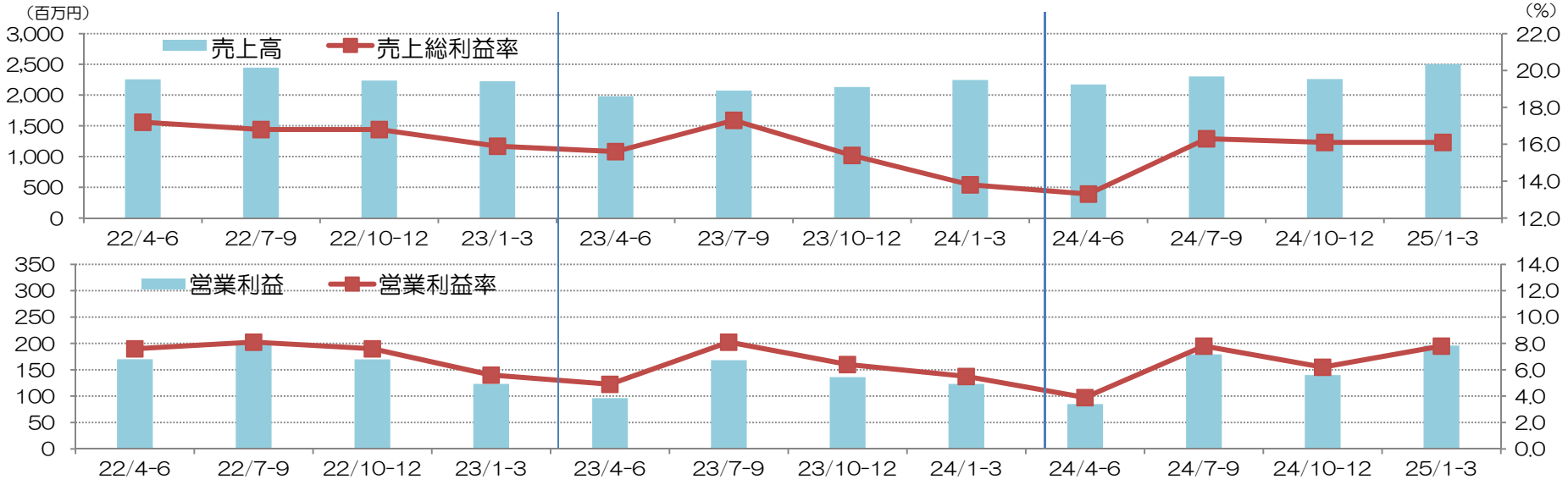
	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	前期比
売上高	8,506	8,705	9,165	8,431	9,241	109.6%
売上原価	7,001	7,252	7,637	7,127	7,809	109.6%
売上総利益	1,505 （17.7%）	1,453 （16.7%）	1,528 （16.7%）	1,304 （15.5%）	1,431 （15.5%）	109.8%
販売費及び一般管理費	853	816	866	780	830	106.4%
営業利益	651 （7.7%）	636 （7.3%）	662 （7.2%）	523 （6.2%）	601 （6.5%）	114.8%
経常利益	597 （7.0%）	660 （7.6%）	671 （7.3%）	533 （6.3%）	606 （6.6%）	113.6%
当期純利益	307 （3.6%）	348 （4.0%）	208 （2.3%）	117 （1.4%）	337 （3.7%）	286.7%

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2）会計期間推移

（単位：百万円）

	24/1-3 4Q	24/4-6 1Q	24/7-9 2Q	24/10-12 3Q	25/1-3 4Q
売上高	2,245	2,173	2,303	2,260	2,504
売上原価	1,936	1,883	1,928	1,896	2,100
売上総利益	308 （13.8%）	289 （13.3%）	374 （16.3%）	363 （16.1%）	403 （16.1%）
販売費及び一般管理費	185	204	195	222	207
営業利益	123 （5.5%）	85 （3.9%）	179 （7.8%）	140 （6.2%）	196 （7.8%）
経常利益	131 （5.9%）	79 （3.6%）	167 （7.3%）	154 （6.9%）	204 （8.2%）
当期純利益	58 （2.6%）	41 （1.9%）	91 （4.0%）	88 （3.9%）	117 （4.7%）



Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3）連結貸借対照表　主要項目抜粋

（単位：百万円）

	24/3	25/3	増減	増減要因
流動資産	4,615	5,047	＋432	
現金及び預金	2,525	2,502	△22	
売掛金	1,559	1,783	＋223	
その他	530	761	＋230	有価証券取得による増加（前期末比増減＋200百万円）
固定資産	832	938	＋105	
有形固定資産	99	89	△10	
無形固定資産	3	3	△0	
投資その他の資産	729	846	＋116	投資有価証券の増加（前期末比増減＋130百万円）
流動負債	1,168	1,485	＋316	
買掛金	415	480	＋65	
その他	753	1,004	＋250	未払法人税等の減少（前期末比増減△138百万円）
固定負債	359	352	△6	
負債合計	1,527	1,837	＋309	
株主資本	3,897	4,107	＋209	
純資産合計	3,920	4,148	＋228	
負債純資産合計	5,448	5,986	＋538	

4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	24/3	25/3	要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	101	451	税金等調整前当期純利益の計上額606百万円による資金増加及び法人税等の支払額144百万円等による資金減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	54	△321	有価証券の取得による支出200百万円及び投資有価証券の取得による支出113百万円による資金減少
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125	△151	配当金の支払額127百万円及び短期借入金の返済による支出20百万円による資金減少
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0	
現金及び現金同等物の増減額	29	△22	
現金及び現金同等物の期首残高	2,375	2,405	
現金及び現金同等物の当期末残高	2,405	2,382	

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

5）品目別売上高・売上総利益推移

（単位：百万円）

		24/3	25/3	前期比
システムインテグレーション・サービス	売上高	5,180	6,134	118.4%
	売上総利益	778	963	123.7%
	売上総利益率	15.0%	15.7%	－
システムアウトソーシング・サービス	売上高	1,560	1,584	101.6%
	売上総利益	260	241	92.6%
	売上総利益率	16.7%	15.2%	－
プロフェッショナル・サービス	売上高	1,689	1,522	90.1%
	売上総利益	264	227	85.8%
	売上総利益率	15.7%	14.9%	－
合計	売上高	8,431	9,241	109.6%
	売上総利益	1,304	1,431	109.8%
	売上総利益率	15.5%	15.5%	－

6）業種別売上高・売上総利益推移

（単位：百万円）

		24/3	25/3	前期比
金融業	売上高	3,148	3,372	107.1%
	売上総利益	546	560	102.6%
	売上総利益率	17.4%	16.6%	－
流通業	売上高	2,146	2,267	105.6%
	売上総利益	334	380	113.8%
	売上総利益率	15.6%	16.8%	－
通信業	売上高	1,594	1,484	93.1%
	売上総利益	212	232	109.3%
	売上総利益率	13.3%	15.6%	－
製造業	売上高	471	607	128.9%
	売上総利益	74	70	94.6%
	売上総利益率	15.9%	11.6%	－
官公庁	売上高	351	468	133.4%
	売上総利益	38	49	127.2%
	売上総利益率	11.1%	10.6%	－
その他	売上高	719	1,041	144.7%
	売上総利益	97	138	141.6%
	売上総利益率	13.6%	13.3%	－

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

7）主要顧客別売上高推移

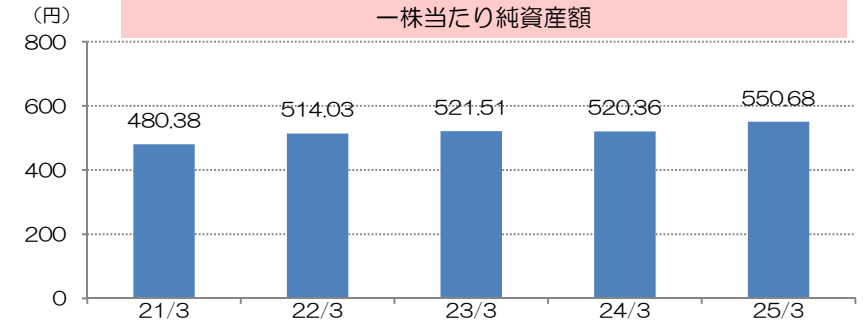
（単位：百万円）

顧客＼期別	24/3	25/3			主な業績要因
		金額	構成比率	前期比	
野村総合研究所	2,540	2,665	28.8%	104.9%	紙加工品メーカー向け開発案件の拡大 教育事業向け維持保守案件の拡大
富士通	1,386	1,244	13.5%	89.7%	通信業向け案件の縮小
イオンアイビス	641	883	9.6%	137.8%	新規開発案件の受注
みずほ情報総研	706	678	7.3%	96.1%	基盤構築案件の縮小
富士通アドバンストソリューションズ	382	511	5.5%	133.8%	電気通信事業向け開発案件の拡大 金融業向けプライベートクラウド案件の新規受注
ＮＲＩネットコム	326	435	4.7%	133.1%	流通業向け開発案件の拡大
かんぽシステムソリューションズ	154	228	2.5%	148.8%	開発案件の拡大
ＨＢＡ	116	190	2.1%	163.2%	官公庁向け開発案件の拡大
富士通システムズ・ウエスト	163	189	2.1%	114.3%	電気通信事業向け基盤案件の拡大
日本電気	169	180	2.0%	107.1%	金融業向け開発案件の拡大

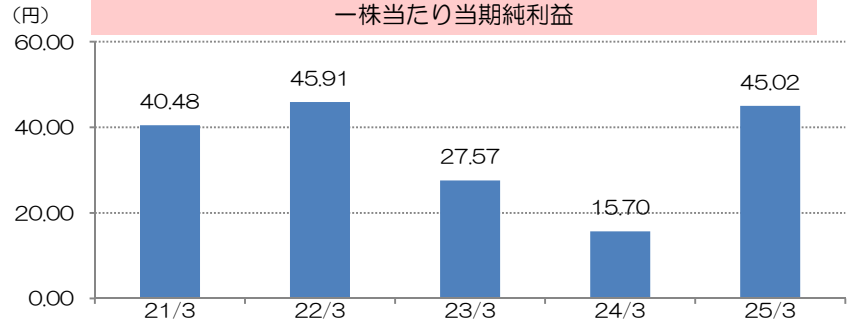
Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

8）株価・株式関連

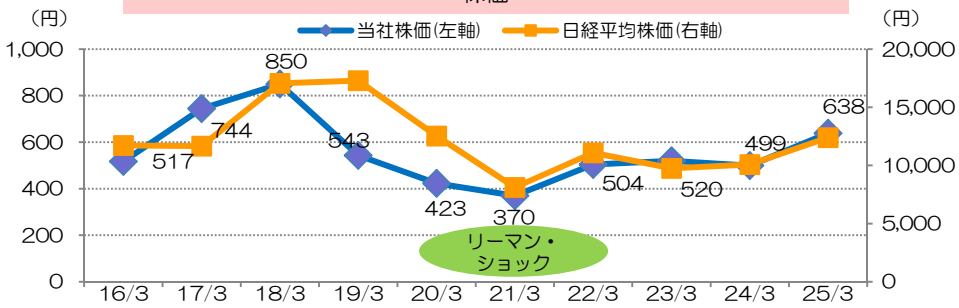
一株当たり純資産額



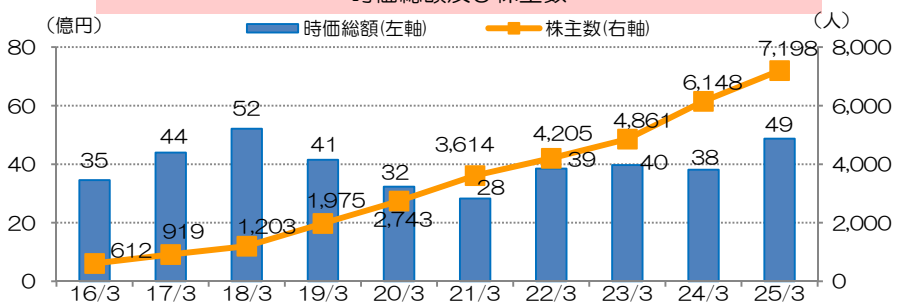
一株当たり当期純利益



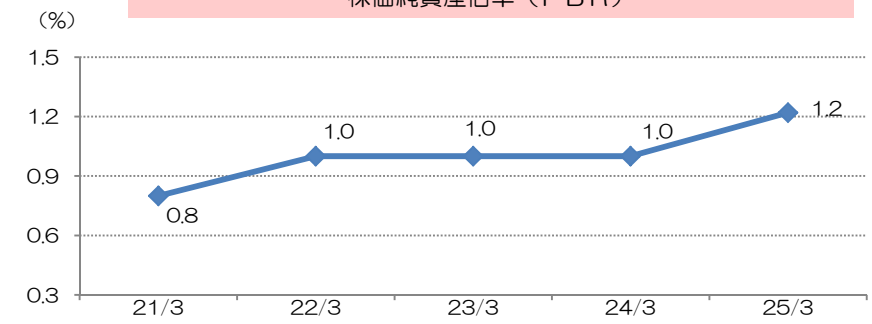
株価



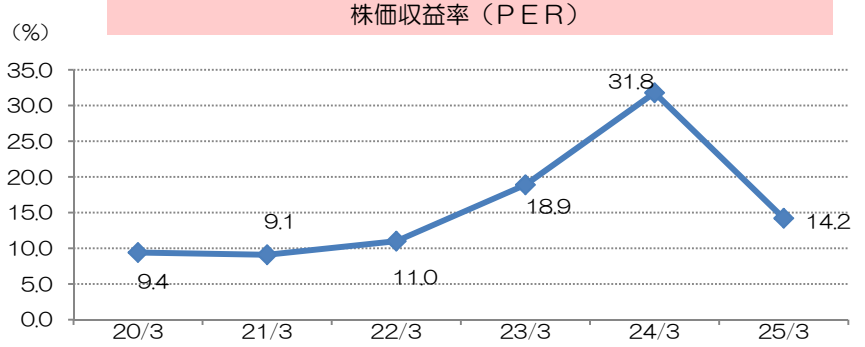
時価総額及び株主数



株価純資産倍率（ＰＢＲ）



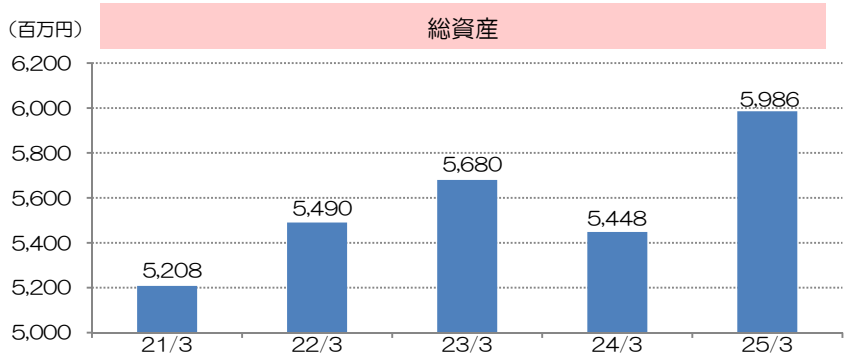
株価収益率（ＰＥＲ）

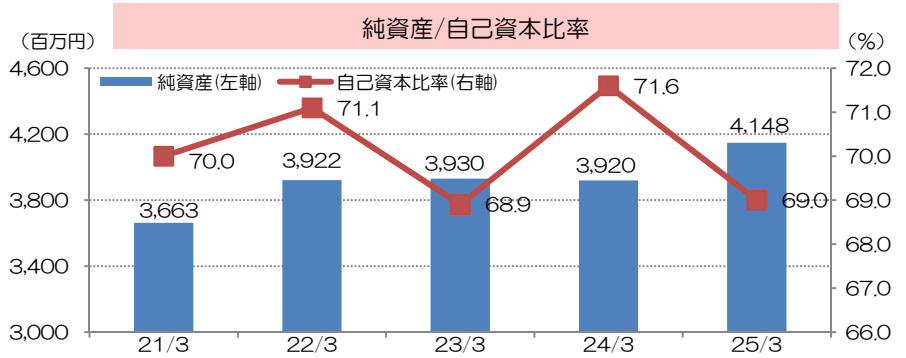


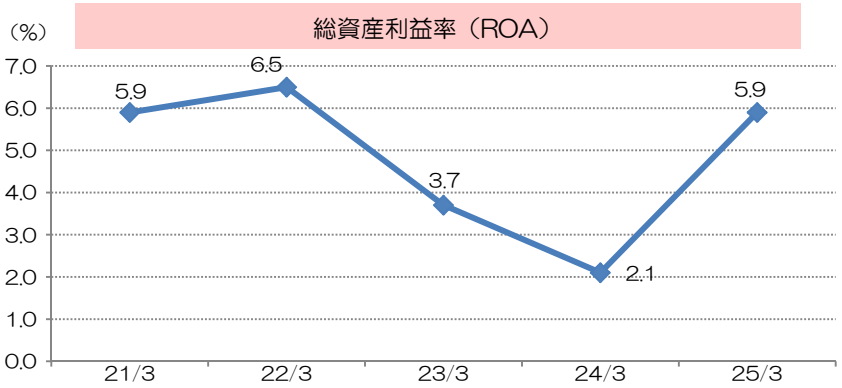
※ 当社株価は、平成１６年3月期以降に実施した株式分割を遡及しています。

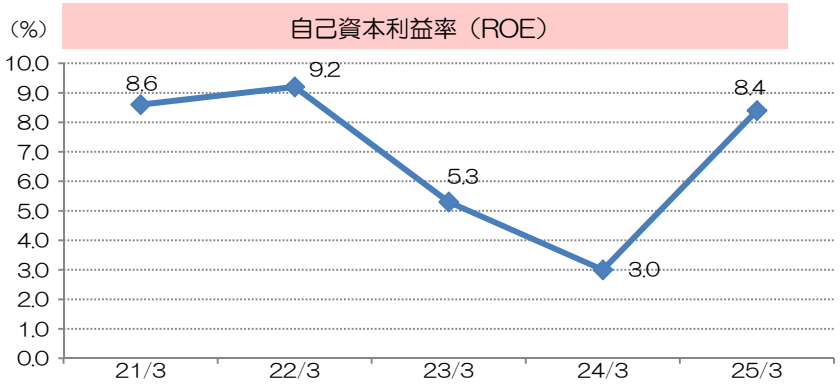
Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

9）資産・資本関連

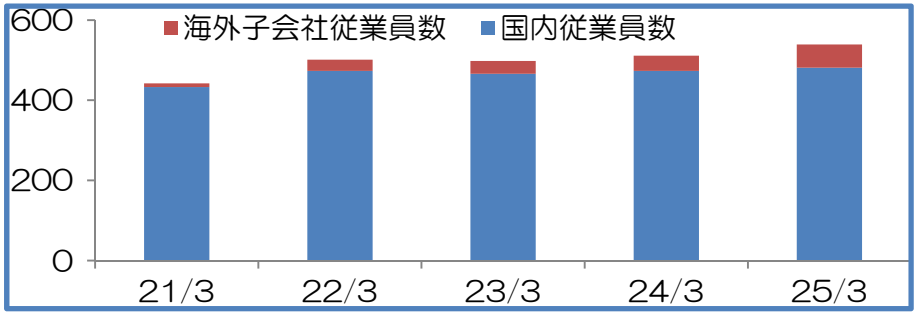








１０）従業員情報



（単位：人）

	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3
国内従業員数	433	473	466	473	481
海外従業員数	9	28	32	38	58
従業員数 合計	**442**	**501**	**498**	**511**	**539**

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

◆当社独自の用語

用語	内容
Ｆ＠ＣＥ	Framework @ Cube`s Engineeringの略称。 時代変化と顧客要望を真摯に受け止め、提供するサービスの標準化と品質向上、更には確固たる方法論を持った請負型ビジネスや知識サービスビジネスを目指すべく、今まで蓄積してきた経験・ノウハウと最新の業界動向を踏まえ、ＣＵＢＥの標準的なフレームワークとして制定したもの

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

◆一般的用語

用語	内容
開発標準フレームワーク	開発工程（要件定義フェーズから本番稼動にいたるまで）における、標準的な開発プロセス（開発手順）と、開発支援ドキュメント（各種作業ガイドや設計書テンプレート）が整備されたもの。 これらによって、実際の開発プロジェクトでは技術のばらつきをカバーし、システム全体の品質を安定させることができます。
クラウドコンピューティング	ネットワークを最大限に活用するコンピュータ利用形態の一つ。ウェブブラウザなどを介して「サービス」の形でアプリケーションを使う。ユーザーが作成したデータも、コンピュータ内でなく「サービス」の側に置くことで、ネットワークにさえつながるなら、どのような端末からでも同じデータが、いつでも利用可能になる。
プライベートクラウド	企業が自社内でクラウドコンピューティングのシステムを構築し、企業内の部門やグループ会社などに対してクラウドサービスを提供する形態のこと。
ＲＩＡ	Rich Internet Applicationsの略称 RIAとは、柔軟で優れた表現力や操作性を持ったWebアプリケーションの総称である。 RIAはWebブラウザ上で動作し、DHTMLやJavaアプレット、Flash、Ajaxなどの機能を使用して動的・双方向的なWebページを表現する。従来のHTMLやCSSのみで表現されたWebアプリケーションは、もっぱら静的なページをページ遷移によって切り替えていく方法だったが、RIAを導入することによって「動き」や「流れの良さ」があるユーザビリティの高いサイト構築が可能になった。
ＰＭＯ	Project Management Officeの略称 大規模な組織において、組織全体のプロジェクトマネジメント（PM）の能力と品質を向上し、個々のプロジェクトが円滑に実施されるよう支援することを目的に設置される専門部署。「プロジェクトオフィス」「プロジェクト支援部門」などともいう。
ＩＴアーキテクト	ITアーキテクトとは組織の情報戦略に基づいて、ITシステム全体のアーキテクチャを設計する存在である。システムの要素となり得るさまざまな技術・製品から、ビジネス上の要求と技術・製品の将来性、利用者側の使いこなし能力などを加味して、最適な組み合わせを選び出すこと。
エンハンス	現行システムに手を加えて、性能や品質の強化・向上を図ったり、新たな機能の追加・拡張を行ったりすること。プログラムの修正のほか、外付けシステムの追加開発、データベースやミドルウェアのチューニング、ハードウェアの追加・置き換えなど、さまざまな手段が含まれる

Copyright (C) 2013 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

CUBE SYSTEM

株式会社 キューブシステム

http://www.cubesystem.co.jp

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

そのため、様々な外部的要因の影響等により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性を多分に含んでいることをご承知おき下さい。